

タレス、TELSTRA、MICROSOFT、ARDUINO の 4 社協業により 拡張性と信頼性の高い IoT アプリケーションの実装を簡素化

- タレス、Telstra、Microsoft および Arduino の 4 社が、細分化される IoT デバイス市場に対し、堅牢な IoT セキュリティとして高い有効性と拡張性を担保する GSMA IoT SAFE ソリューションを提供
- セキュアなコネクテッド IoT デバイスの展開を大幅に簡素化するワンストップソリューションとして、モバイル事業者、IoT サービスプロバイダならびにデバイスメーカーを支援
- GSMA IoT セキュリティガイドラインに準拠する IoT 製品やサービスのエンド・ツー・エンド、ならびにチップ・ツー・クラウドのセキュリティを確保し、データの完全性と機密性を担保

パリ・ラデファンс(2020年3月16日)---デジタルセキュリティの世界的リーダー企業であるタレスとオーストラリアの大手電気通信会社である Telstra は、Microsoft ならびに Arduino との協業により、IoT デバイスを対象としてデバイスとクラウド間における高い信頼性、安全なエンド・ツー・エンド通信を実現する拡張性の高いセキュリティソリューションの提供を開始します。

本ソリューションは、セルラーネットワークを介してデバイスとクラウドプラットフォーム間に、標準化された相互認証が容易に実現できるだけでなく、[GSMA 推奨の IoT SAFE](#) セキュリティ仕様への完全な準拠を可能します。

IoT のエコシステムでは、何十億台ものデバイスが幅広い種類のデータ収集・処理を行うサービスが実行されることで、クラウドへデータを送信しています。このような状況下でのセキュリティ確保には、クラウド上の IoT サービスがコネクテッドデバイスから受信するデータへの絶対的な信頼を必要とします。同様に、デバイス側でもクラウドを信頼する必要があります。デバイスとサーバーが相互認証している場合に限り、このような信頼性を実現することができます。しかし、IoT エコシステム内では多種多様なオペレーティングシステムやチップが採用されているため、IoT デバイス市場の細分化が顕著であるため、セキュリティサービスの拡張性や冗長性が大きく制限されています。

このような状況を踏まえ、タレス、Telstra、Microsoft¹、Arduino² は 4 社協業のもと、セルラーネットワークを介した極めてシンプルで安全かつ効率的に、IoT デバイスのクラウドへの接続を確立できるソリューションを提供する取り組みを開始させました。実証済みの標準 SIM または eSIM テクノロジーを搭載したあらゆる IoT デバイスに対応する高度な「[セキュリティ・バイ・デザイン](#)」のアプローチによって、必要とされる信頼レベルに達しています。

このアプローチにより、IoT デバイスが起動すると同時に、[タレスの IoT SAFE アプリケーション](#) に対応するすべての SIM または eSIM のプロビジョニングが、自動かつ安全に展開されます。IoT デバイスが SIM や eSIM 内に適切なデジタル証明書を作成のうえ保存することで、デバイスとサーバー間にデータの完全性と機密性が確立された信頼性の高い通信が行われます。

Telstra のグローバル IoT ソリューション担当エグゼクティブであるジェラルド・ルーツ(Gerhard Loots)氏は、「GSMA が推奨する IoT Safe 仕様は、主にセルラーネットワーク向けに拡張性や将来性の高い IoT セキュリティを実現することを目指したものです。既存の IoT 接続サービスの一環として、将来的に標準化され実装しやすい IoT セキュリティの提案を可能にすることで、スマートエネルギー、自動車、医療業界や家庭用ソリューションなど、あらゆる用途に対して IoT セキュリティを大きく前

進させることができます。この仕様を弊社の IoT ソリューションで検証できることを楽しみにしています」と述べています。

タレスのモバイルコネクティビティソリューション担当シニアバイスプレジデント(SVP)であるエマニュエル・ウングラン(Emmanuel Unguran)は、「GSMA 仕様に積極的に参画すると共に、認証情報ライフサイクル管理のための OTA(Over The Air)プラットフォームソリューション分野で世界的リーダーでもある当社は、拡張可能な IoT セキュリティを実現させるための重要なパートナーであると認識されています。煩雑さを無くしたアプローチで、モバイルネットワーク事業者、デバイスメーカー、IoT 業界など、あらゆるステークホルダーにとって有益で持続可能な拡張性と信頼性の高いエコシステム構築を支援します」と述べています。

Microsoft の Azure IoT ビジネスアクセラレーション担当ゼネラルマネージャーであるトニー・シャキブ(Tony Shakib)氏は、「今回のグローバル企業間での協業は、妥協のない IoT セキュリティの簡素化を重視しています。デバイス、ソフトウェア、ネットワーク、クラウドなど各レイヤーの IoT テクノロジーを統合することで、これまで以上に合理化された IoT セキュリティを提供することが可能になります。その結果、お客様やパートナー様は、IoT を安全に展開させながら、ソリューションからビジネス価値を生み出すことに注力いただけるようになります」と述べています。

Arduino の最高経営責任者(CEO)であるファビオ・ヴィオランテ(Fabio Violante)氏は、「タレス、Telstra、Microsoft が参加するドリームチームの一員になることができ、非常に嬉しく思います。このツールはチームワークが成し遂げた開発であり、Arduino が堅牢で信頼性が高く、統合しやすいハードウェアやソフトウェア IoT ソリューションを開発するための優れたパートナーであることを証明していると言えます」と述べています。

^{*1} Microsoft は、Azure IoT Hub に IoT SAFE ソリューションを統合しました。また、エンド・ツー・エンドの IoT アプリケーションの試作開発をサポートするため、Azure Stream Analytics、Cosmos DB、Power BI サービスを提供しました。

^{*2} Arduino は、GSMA IoT Safe 規格のセキュリティメカニズムを、同社の MKR NB 1500 通信モジュールに実装するためのライブラリ(オープンソースライセンス)を開発しました。また、Arduino 製通信モジュールで既に利用されている CryptoChip の適切な代替品を提供しています。本プロジェクトは、各種 IoT 分野を横断する企業間提携を示す素晴らしい実例であり、Arduino が新設した Arduino Pro 事業部門が専門アプリケーションや業界向けアプリケーションに注力しています。

タレスについて

タレス(Euronext Paris: HO)は、より良い未来を実現するソリューションを提供するテクノロジーのグローバルリーダーです。航空、宇宙、陸上交通、デジタルアイデンティティおよびセキュリティ、防衛の分野で製品・サービスを提供しています。68 カ国に 8 万人の従業員を擁するタレスの 2018 年度売上高は、190 億ユーロを記録しています。

タレスは、コネクティビティ、ビッグデータ、人工知能、サイバーセキュリティといったデジタルイノベーションに特に注力し研究をすることで、企業や政府などあらゆる組織の意思決定を支援しています。

本記者発表文の公式バージョンはオリジナル言語版です。翻訳言語版は、読者の便宜を図る目的で提供されたものであり、法的効力を有していません。翻訳言語版を資料としてご利用になる際には、法的効力を有する唯一のバージョンであるオリジナル言語版と照らし合わせて頂くようお願い致します。

<https://www.thalesgroup.com/en/group/journalist/press-release/thales-telstra-microsoft-and-arduino-deliver-scalable-trust-easy>

PRESS CONTACT

Thales Japan PR 事務局(プラップジャパン)

担当: 松本/沖山

Tel: 03-4580-9134

Email: thales@prap.co.jp

タレスについて、下記もご覧ください

タレス・グループ

セキュリティ

高解像度画像のダウンロード

